学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽発表Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、音楽を楽しむことに加え、音楽の専門的な知識を身につけ、工夫を凝らした演奏活動ができるようにし、その成果を発表します。
・課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・プリントを綴じるファイルを用意してください。
・練習レポートや感想シートはあなたの考えたこと、感じたことを具体的に書いてください。
・受け身にならないように注意してください。グループで練習をすることが多いので、特に欠席しないようにしてください。

2　学習の到達目標

音楽に関する専門的な学習を通して、音楽表現に必要な知識や技能を習得するとともに、感性を働かせて、他者と協働しながら音楽を表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）与えられた題材について、学んで得た知識で自己のイメージを膨らませたり、表現を工夫したり、他者と協働して表現することの良さを考えたり、感じとることができるようにする。
（３）主体的・協働的に活動に取り組み、他者との調和を意識し、音楽によって生活を豊かなものにしていく態度養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ゴスペルに挑戦しよう	【合唱】 ・Joyful, Joyful 【鑑賞】 ・≪天使にラブソングを2≫	a:【知】ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解している。 【技】曲想にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 旋律・リズム・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。またどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: ミュージカルという表現方法と曲にふさわしいイメージをもって歌う学習に関心をもち、主体的・協働的に歌唱と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

	弾き歌いに挑戦しよう	【弾き歌い】 各自が選曲 （ピアノがギターで弾き歌い）	a:【知】曲想とギター・ピアノの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け演奏で表している。 b: 音色、旋律、和声、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、弾きながら歌う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の 聴取 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	リズムを創作してみよう	【創作】 リズムアンサンブル	a:【知】リズムの特徴について表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な反復、変化などの手法を活用してリズムをつくる技能を身につけている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:試行錯誤しながらリズムを創作する学習に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	観察 ワークシート

	美しいハーモニーを創ろう	【合唱】 Pretender	a:【知】各声部の特徴や役割を合理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b: 各声部の特徴や役割を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の 聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	楽器の特徴を生かしたアンサンブルの楽しみ	【器楽】 グループアンサンブル 各自が選曲	a:【知】自分で選択した楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け演奏で表している。 b: アンサンブルをすることから生まれる和声、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 自分で選択した楽器の音色にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート

3学期	旋律の特徴を曲の変化を聞き取ろう	【鑑賞】 バレエ音楽「ボレロ」	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:旋律を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表演の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c: 音楽の構成から生み出される旋律の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート
	歌で想いを届けよう	【歌唱】 結	a:【知】各声部の特徴や役割について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b: 各パートの役割について意見を交換し、共通のイメージをつくり、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度